

(様式第4号)

塩田公民館運営審議会 会議概要

- 1 審議会名 上田市塩田公民館運営審議会
- 2 日 時 平成26年6月2日 午後1時30分から午後4時00分まで
- 3 会 場 塩田公民館小ホール
- 4 出席者 佐藤会長、木口副会長、宮原委員、関谷委員 ・欠席者 伊藤委員
- 5 市側出席者 倉澤館長、高橋次長
- 6 公開・非公開等の別 (公開) ・ 一部公開 ・ 非公開
- 7 傍聴者 0人 記者 0人
- 8 会議概要作成年月日 平成26年6月6日

協議事項等

- 1 開 会 (高橋塩田公民館次長)
- 2 あいさつ (佐藤信義会長、倉澤塩田公民館長)
- 3 協議事項
 - (1) 議題の概要 (倉澤塩田公民館長)

平成26年度 塩田公民館事業の計画方針について

 - ・夏休み子ども事業について
 - 塩田中学校学校支援地域本部事業について
 - 市民による事業評価の事業について
 - (2) 審議概要

議題 平成26年度 塩田公民館事業の計画方針について

(各委員の意見)

 - ・人権懇談会はテーマを決めて開催してきており、この方式がよい。
 - ・解放子ども会や育成会を大事にしてほしい。地域で子どもをうまく育てるための環境を作りたい。
 - ・分館の各組織の分担を組み直し、少しでも人を集めることを皆で考え直していかないと分館活動が先細っていく。行き詰ってきたら、すべて壊し、作り直すことも必要である。
 - ・放射能を測定し、その結果について話し合いをするなど、事故を風化させないためにも情報提供が必要ではないか。
 - ・子ども対象の講座を計画しても、土日は子どもが忙しすぎて応募者が少ない。土日の子どもの活動の実態調査を教育委員会でやる必要があるのではないか。

(事務局)

 - ・人権懇談会は昨年は多文化共生をテーマにし、今年は高齢者と子どもの人権をテーマにしている。
 - ・塩田地域は昔から公民館活動が活発だった。
 - ・放射能測定器は一度使用すると洗浄しないといけないし、一個体を測定するのに相当時間がかかる。いずれにしても放射能の情報提供は必要と思う。

(審議結果)

 - ・地域の特性を生かした活動をしたり、地域が活発になるような活動があることは大事。
 - ・公民館講座については、多岐にわたって充実しており計画どおりでよい。

議題 塩田中学校学校支援地域本部事業について

(各委員の意見)

 - ・学習支援ボランティアは大変。
 - ・塩田中学校に入っているが、小学校にも問題のある子どもがいるので小学校にも来てほしい。
 - ・東塩田小学校は民生児童委員に入ってもらっている。
 - ・ボランティアに少しでも手当てをする体制を作してほしい。

(事務局)

- ・ボランティアは家庭の事情などで減少傾向にある。
- ・環境ボランティアで先進学校の事例を視察しながら取り組んでいる。

(審議結果)

- ・しおっだっこ応援団は塩田の特徴なので、学校にコーディネーターを配置するよう教育委員会に強く要望してほしい。
- ・小学校とも連携し、地域をあげて取り組みたい。

議題 市民による事業評価の事業について

(各委員の意見)

- ・農ある里山講座について、中身は有機農法なので、土を活かしたというような名前に変えた方がいいのではないか。あるいはサブタイトルを付けてほしい。
- ・有機農法を実践している人が大勢いるので裾野が広い。地域がそれにつながる。
- ・若者が入って野菜をネットで売りさばく仕組みを作ってもらえればいい。

(事務局)

- ・講師は詳しいのでいろいろな話を聞ける。
- ・ご意見いただいた内容を今後に生かしたい。

4 その他（倉澤塩田公民館館長から説明）

- ・第2回塩田平ため池フェスティバルの開催について
- ・真田丸、山の日について
- ・平成27年度新公民館5周年について

5 閉 会（高橋塩田公民館次長）